

県内経済の動き

概況

〔12月～2月の動き〕

緩やかな持ち直しの動きが続く

鉱工業生産指数（12月）は2カ月ぶりに前月比低下。通関輸出額（1月 細島港）は、7カ月連続で前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（1月 全店ベース）は2カ月連続で前年比減少し、「軽」を含む乗用車の販売台数（2月）は2カ月連続で前年比増加した。新設住宅着工戸数（1月）は、4カ月ぶりに前年比増加し、公共工事（1月 保証対象請負総額）は2カ月連続で前年を下回った。有効求人倍率（1月：1.53倍）は前月比0.06ポイント上昇し、集計を開始（昭和38年）して以来の最高値となった。2月の企業倒産は、件数、負債総額ともに前月比減少した。

県内経済は、一部の指標に弱い動きがみられるものの、総じて緩やかな持ち直しの動きが続いている。
(厚地)